



共創で拓くモビリティと健康の未来

— 看護 × スマートモビリティ × 地域包括ケア —

札幌市立大学発 × 北海道大学発 認定スタートアップ

株式会社かんばんらす
代表取締役社長 中田亜由美



自己紹介



札幌市立大学発 × 北海道大学発 認定スタートアップ

株式会社かんばんらす 代表取締役社長 中田 亜由美

(研究者・大学教員・看護師)

研究分野：看護学

研究キーワード

- ・ 地域包括ケア
- ・ Age-Friendly Communities



【最終学歴】

北海道大学大学院 保健科学院 修士課程修了 看護学修士(2013)



北海道大学

【看護師】

北海道大学病院 看護師 (2001～2004 / 2007～2012)

【教員】

- ・ 北海道大学医学部保健学科 非常勤講師(2013, 2024, 2025)
- ・ 北海道大学公共政策大学院 客員研究員(2018～2020)
- ・ 北海道大学歯学部 非常勤講師(2025.10 ～)



HOKKAIDO
UNIVERSITY
START UP

札幌市立大学(2014～2024)

- ・ 教育支援プロジェクトセンター 特任助教
- ・ 看護学部老年看護学領域 助教
- ・ 専門研究員



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

病気の重症化、要介護状態による外出困難 社会的孤立・生きがいの喪失

高齢者の外出困難要因

- 身体的な病気や障害
- 外出時の支援者がいない
- 公共交通機関
- 雪道・坂道などの環境要因
- 経済的負担

誰にも迷惑かけられないから

「**家の中でただ生きているしかない...**」

と泣きながら話す...

友達や会いたい人に
会うこともできない...





リハビリ・トレーニング



健康相談・健康チェック



健康講座



外出のきっかけイベント



おでかけぶらすの駅
健康のための外出支援



従来の医療機関や健診施設では対応しきれない「未受診者」、「予備群」、「潜在的支援ニーズ層」へのアプローチを可能とし、一次予防・二次予防の補完機能を地域にもたらす。

おでかけぶらす

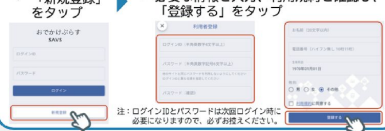
「おでかけぶらす」利用方法

①ウェブで予約する ▶ ②予約日に乗車場所へ ▶ ③「おでかけぶらす」に乗る

STEP 1 まずは利用者登録しよう

1 予約専用サイトにアクセスします。

<https://passenger.savs.minai.share.com/sapporo-minami/ky>

2 必要な情報を入力して登録します。
・「新規登録」をタップ
・必要な情報を入力、利用規約を確認し、「登録する」をタップ

注：ログインIDとパスワードは次回ログイン時に必要になりますので、必ずお覚えください。

STEP 2 乗りたいと思ったら配車予約しよう

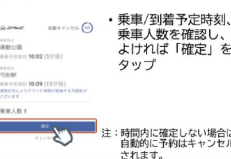
1 ログイン後、「デマンド作成」をタップします。


2 乗車場所/降車場所を選択します。
・地図を動かして乗車希望位置の星数字をタップ

※検索窓をタップすると一覧が表示されるので、そこから選択することも可能
・乗車/降車場所を選択後、「ここを出発地/目的地にする」をタップ

3 希望日時・乗車人数を入力します。
・時計マークをタップし、希望日時を設定

・乗車人数を選択
・「この内容で申し込む」をタップ
・出発/到着を選択
・希望時間を設定
・希望日を設定
・全て設定後「決定」をタップ


4 予約を確定します。
・乗車/到着予定時刻、乗車人数を確認し、よければ「確定」をタップ

注：時間内に確定しない場合は、自動的に予約はキャンセルされます。



- ・ 外出困難な方に看護師が付き添いサポート
- ・ 乗りたい場所から目的地までの送迎
- ・ 健康状態に応じた外出コーディネート

はこだて未来大学発ベンチャー 株式会社未来シェアのSAVSを活用

* SAVS: (Smart Access Vehicle Service) タクシーと乗合バスの利点を併せ持ち、 AIによるリアルタイム経路最適化 により効率的な配車・乗合を実現

「まちの保健室」と「おでかけぷらす」を連動させた 地域包括ケアサービス



まちの保健室



おでかけぷらす



「まちの保健室」: 病気の重症化、要介護を予防する **地域の健康拠点**
「おでかけぷらす」: 外出困難な方の“ **行きたい** ”という **希望叶える外出支援**

実証概要

期間: 2025年2月(5日間)

場所: 札幌市南区

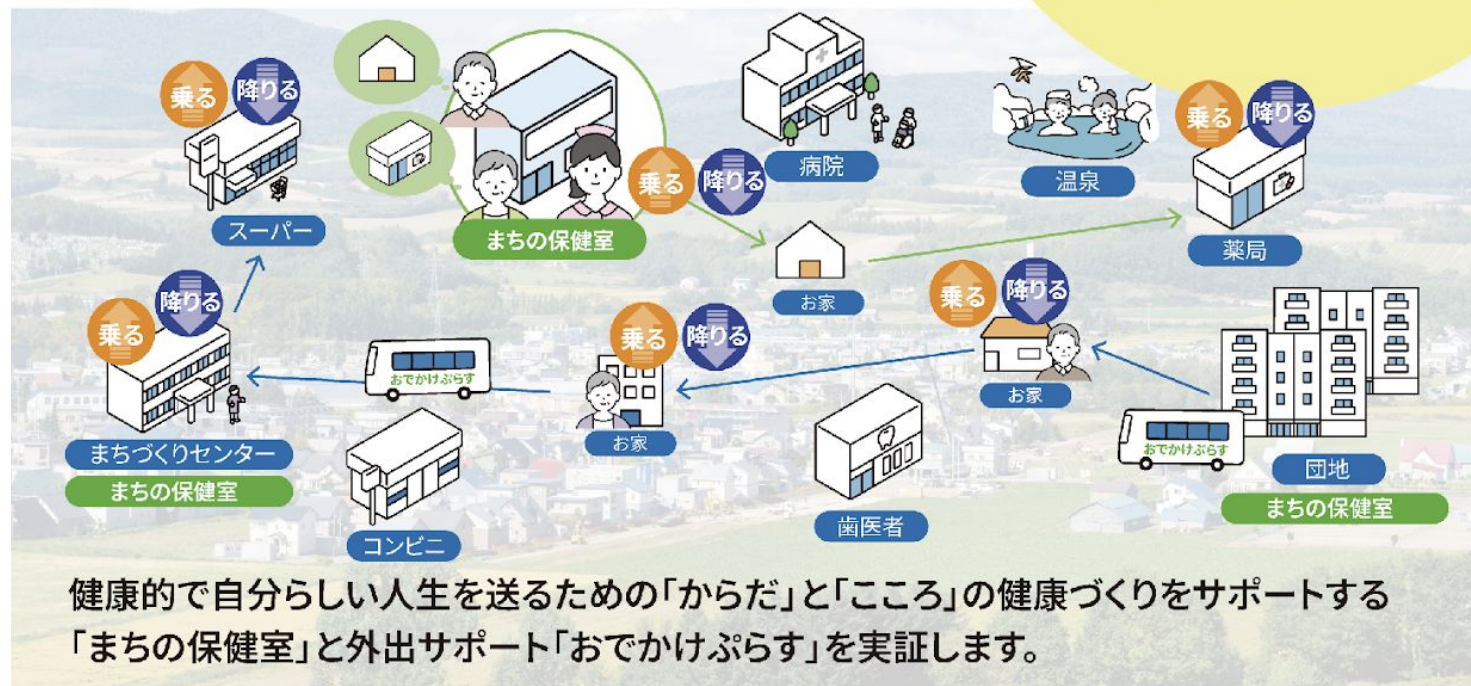
対象: 地域在住の中高年層

- 任意・無記名の質問紙調査、ヒアリング調査
- 調査項目: 属性、満足度、行動変容、基本チェックリスト
- 分析: 単純集計およびクロス集計

まちの保健室×おでかけぶらす 地域包括ケア実証プロジェクト

健康的で自分らしい人生を応援するサポートプロジェクト

利用料金
無料



まちの保健室・おでかけぶらす 実証実験期間

2月1日[土] 2日[日] 7日[金] 8日[土] 9日[日]

【プロジェクト推進体制】



＜実施主体＞
株式会社かんどぷらす
株式会社未来シェア
UR都市機構
イオン北海道株式会社



＜協力機関＞

札幌市、札幌市立大学、一般社団法人 北海道開発技術センター、北海道二十一世紀総合研究所、北海道循環器病院



＜関与プロジェクト＞

令和6年度国土交通省共創 MaaS実証プロジェクト
「看護×AIオンデマンド外出支援共創 MaaS実証プロジェクト」



北海道スタートアップスタジオ



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY



実証エリア

札幌藻岩山スキー場

真駒内セキスイハイムアイスアリーナ

アパホテル&リゾート〈札幌〉

北海道立真駒内公園

柏ヶ丘

真駒内

石山緑地

札幌市保養センター駒岡

真駒内

石山1条

ザ・ビッグ石山店

石山

札幌芸術の森

自衛隊前

DCM 西岡店

さっぽろ羊ヶ丘展

羊ヶ丘カントリークラブ

西岡公園

ツキサップゴルフク

Map of the Shirohama area showing the locations of health centers (保健室) and other facilities. The map includes labels for Shirohama (石山), Maechizukuri Center (石山まちづくりセンター), and various surrounding areas like Shirohama (石山), Maechizukuri (真駒内), and Shirohama (石山). It also shows the locations of health centers (保健室) and other facilities like the Shirohama Health Center (石山保健室) and the Maechizukuri Health Center (真駒内保健室).

「おでかけぷらす」利用できる方

■ 保健室のイベント参加や健康相談を受ける方

■ 健康のための外出支援の必要な方

※看護師などの医療従事者のサポートが必要な方にはサポートがつきます。

「おでかけぷらす」駅(モビリティスポット)

■ まちの保健室(URあけぼの団地・UR五輪団地・石山まちづくりセンター)

■ 自衛隊前駅 ■ 真駒内駅 ■ イオン札幌藻岩店

※おでかけぷらすの乗車は、下記エリア内であればご自宅からも利用できます。

(運行エリア: 自衛隊前駅・真駒内駅・真駒内・石山地区)



事前予約方法説明会 1月30日[木]

■ 石山まちづくりセンター

住所: 札幌市南区石山1条4丁目1-1

時間: 10:00~12:00

■ UR五輪団地 集会所

住所: 札幌市南区真駒内緑町4丁目1番

時間: 13:00~14:00

■ URあけぼの団地集会所

住所: 札幌市南区真駒内曙町1丁目1

時間: 15:00~16:00

おでかけぷらすのご予約はお電話またはネットから!

☎(080) 8478-3064

電話受付時間 9:00~16:00
(株式会社かんごぷらす 担当: 水田)

※電話予約は1月31日(金)9:00から受け付け開始 ※ネット予約: 1月25日(土)から受け付け開始

ネット予約は、
1週間前から予約可能



「おでかけぷらす」利用方法



①ウェブで予約する



②予約日時に乗車場所へ



③「おでかけぷらす」に乗る

STEP 1

まずは

利用者登録しよう

1 予約専用サイトにアクセスします。



<https://passenger.savs.mirai-share.com/sapporo-minami/#/>

2 必要な情報を入力して登録します。

・「新規登録」をタップ



・必要な情報を入力、利用規約を確認し、「登録する」をタップ



注: ログインIDとパスワードは次回ログイン時に必要になりますので、必ずお控えください。

STEP 2

乗りたいと思ったら

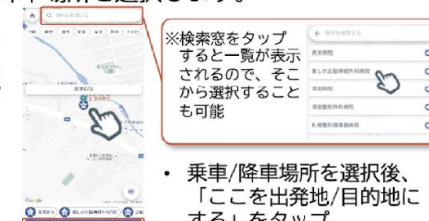
配車予約しよう

1 ログイン後、「デマンド作成」をタップします。



2 乗車場所/降車場所を選択します。

・地図を動かして乗車希望位置の星数字をタップ



※検索窓をタップすると一覧が表示されるので、そこから選択することも可能

・乗車/降車場所を選択後、「ここを出発地/目的地にする」をタップ

3 希望日時・乗車人数を入力します。

・時計マークをタップし、希望日時を設定



・出発/到着を選択
・希望時間を設定
・希望日を設定
・全て設定後「決定」をタップ

・乗車人数を選択
・「この内容で申し込む」をタップ

4 予約を確定します。

・乗車/到着予定時刻、乗車人数を確認し、よければ「確定」をタップ



注: 時間内に確定しない場合は、自動的に予約はキャンセルされます。

「まちの保健室」って何？

「まちの保健室」は、地域の誰もが気軽に立ち寄れる場所です。健康で自分らしく楽しく生きるための「からだ」と「こころ」の健康づくりをサポートします。看護の専門知識や技術を活かし、健康相談や健康管理の情報提供、リハビリ、心と体のケアを行います。また、地域の人々がつながり合い、安心して暮らせる地域の拠点です。



まちの保健室 開催場所・イベント(利用時間10:00～16:00)

- 利用できる方
- 健康的な自分らしい楽しい人生を送りたい高齢者・中高年の皆さん
 - 南区及びその周辺にお住まいの方および来訪者

URあけぼの団地集会所(札幌市南区真駒内曙町1丁目1)

2月1日[土]

- 看護師・保健師による健康相談
(時間10:00～12:00、13:00～16:00)
- おでかけぶらす乗車体験ツアー
「イオン札幌藻岩店に行ってみよう!」(10:30出発)
- 100歳になっても健康で楽しく自分らしい人生を送る地域包括ケア
～ 国内外の先進事例とナイチンゲール看護理論から ～
(時間14:00～15:30)

札幌市立大学発ベンチャー 株式会社かんどぶらす
代表取締役社長 中田亜由美 氏
(元 札幌市立大学 看護学部 助教)

2月2日[日]

- 看護師・保健師による健康相談
(時間10:00～12:00、13:00～16:00)
- 札幌市立大学学生企画
フレイル予防ゲーム「北海道キャラバン」(時間10:30～12:00)
- おでかけぶらす乗車体験ツアー
「地下鉄真駒内駅に行ってみよう!」(14:00出発)

UR五輪団地 集会所(札幌市南区真駒内緑町4丁目1番)

2月7日[金]

- 看護師・保健師による健康相談
(時間10:00～12:00、13:00～16:00)
- おでかけぶらす乗車体験ツアー
「地下鉄自衛隊前駅に行ってみよう!」(10:30出発)
- 「セカンドライフ ～人生100年時代の健康予防～」
(時間14:00～15:30)
講師:北海道循環器病院 理事長補佐兼事務部長 宇野重起様

2月9日[日]

- 看護師・保健師による健康相談
(時間10:00～12:00、13:00～16:00)
- 札幌市立大学学生企画
フレイル予防ゲーム「北海道キャラバン」(時間10:30～12:00)
- おでかけぶらす乗車体験ツアー
「イオン札幌藻岩店に行ってみよう!」(14:00出発)

石山まちづくりセンター(札幌市南区石山1条4丁目1-1)

2月8日[土]

- 看護師・保健師による健康相談(時間10:00～12:00、13:00～16:00)
- 認定作業療法士による「自宅でできるリハビリ講座」、整体体験会(時間14:00～16:00)
- おでかけぶらす乗車体験ツアー
「イオン札幌藻岩店に行ってみよう!」(10:30出発)

実施主体:株式会社かんごぶらす、株式会社未来シェア、UR都市機構
イオン北海道株式会社

協賛:STARTUP HOKKAIDO

協力:札幌市、札幌市立大学、一般社団法人 北海道開発技術センター
北海道循環器病院

令和6年度国土交通省共創MaaS実証プロジェクト採択
「看護×AIオンデマンド外出支援共創MaaS実証プロジェクト」



結果① 利用状況



まちの保健室

総利用者数 合計：64名

結果① 利用状況



おでかけぶらす

総利用者数 合計: 52名

利用者の例



Aさん、60代、女性

要支援1: 訪問介護、訪問看護、デイケアを利用

「歩けなくなってきたから、夏場はシルバーカーでなんとか歩けるけど、冬場は困るのよね。だから、(おでかけぶらすがあつて)良かったです。」

Bさん、70代、男性

「おでかけぶらす」を利用して

「まちの保健室」の健康相談・健康チェック・[リハビリ](#)を2回利用

- ・退職後、自宅にこもって積極的な外出も運動も何もしていなかった。
- ・だんだんと身体が弱ってきて足腰が痛くなってきて歩けなくなってきた。

このまま放っておくと **要支援・要介護**
→ **寝たきり** のリスク大



結果② 利用者の概要

- 年齢：40代～90代、70歳代 20名（52.6%）
- 性別：女性30名（78.9%）、男性8名（21.1%）
- 介護認定：要支援1：1名、要支援2：1名
- 障害者等級：1級1名、4級2名、5級1名
- 杖歩行4名
- 外出時に同伴支援を要する者2名

有効回答：38名

結果② 利用者の健康状態

基本チェックリスト

- フレイルの可能性：8名
- 生活機能低下（10点以上）：5名
- 運動機能低下：2名
- 認知機能低下：1名

* 無回答1名、欠損14名を除外

結果② 利用者の外出と健康状態との関係

基本チェックリストの外出に関する項目

昨年と比べて外出の回数が減っている：10名

- 週に1回も外出しない「**閉じこもり**」に該当：**1名**
- 「**うつ傾向**」：**5名**

* 無回答1名、欠損14名を除外

結果③ 「まちの保健室」 × 「おでかけぷらす」 の満足度

「まちの保健室」

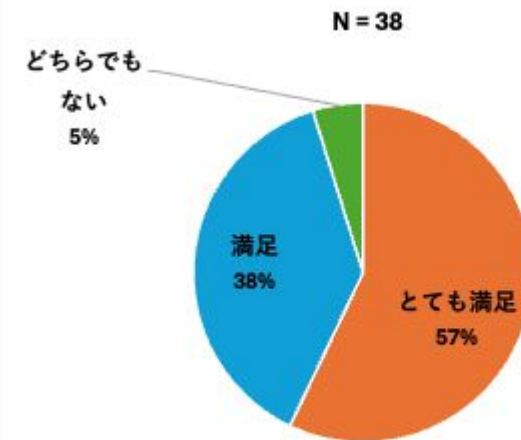
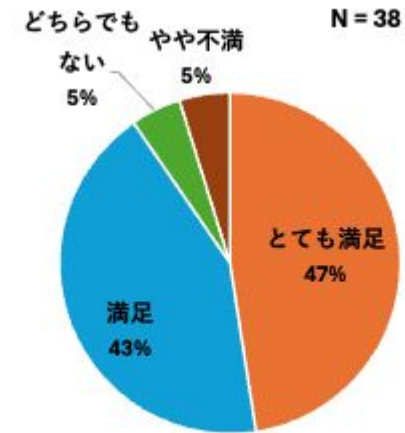
「とても満足」 47.6%、 「満足」 42.9% (合計90.5%)

体調のことを聞いてくれて、
アドバイスを受けられて良かったです。

「おでかけぷらす」

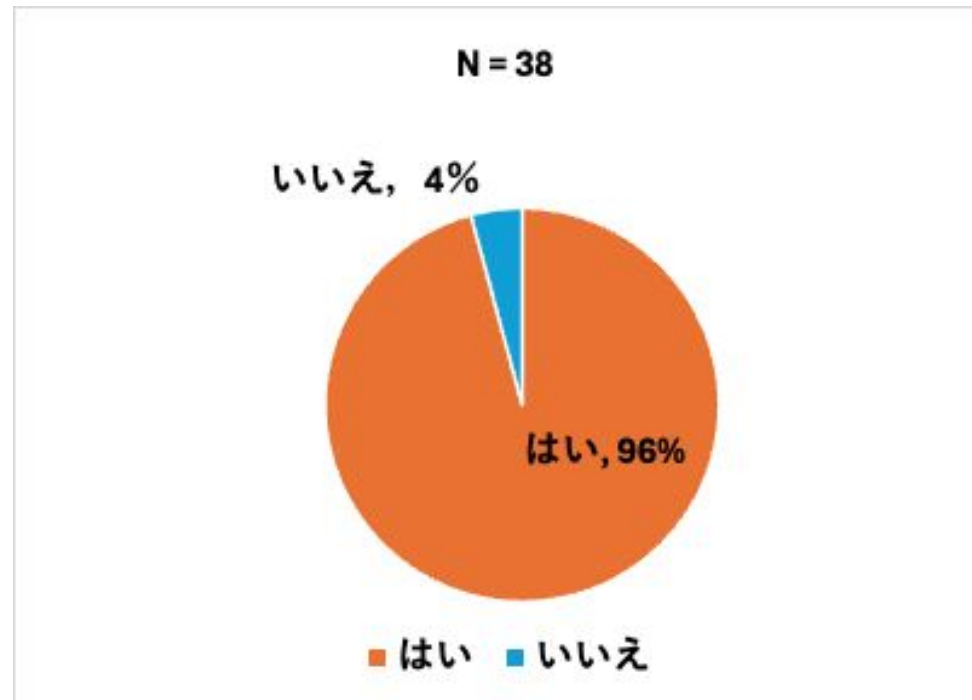
「とても満足」 57.1%、 「満足」 38.1% (合計95.2%)

楽しかった～。本当にありがとう。
こんな機会でもないとお出できない。
(1年ぶりにイオンに行けた方)



結果③今回のイベントが外出のきっかけになったか

「はい」 95.8%、 「いいえ」 4.2%

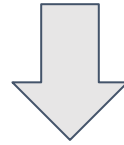


実証にて確認できた期待される効果

- ・まちの保健室
病気の予防・病気の早期発見、フレイル予防、メンタルヘルスの安定
- ・まちの保健室 × おでかけぶらす
外出促進、社会的孤立の解消・メンタルヘルスの安定

考察

- 利用者には支援を必要とする層が含まれていた
- 本モデルは 高い満足度 と 95%以上の外出誘発効果を示した



- 継続利用により、機能回復・維持、フレイル予防、社会的孤立の緩和に寄与し得る
- 「まちの保健室」の地域包括支援機能＋移動支援
→ 地域包括ケアの中核的役割を担う可能性



今年度実証案

今年度実証エリア: 札幌市南区・中央区一部

まちの保健室 × おでかけぷらす 地域包括ケア実証プロジェクト

健康的で自分らしい人生を応援するサポートプロジェクト

利用料金
無料

＜実施主体＞

株式会社かんごぷらす

北海道二十一世紀総合研究所

株式会社未来シェア

UR都市機構

イオン北海道株式会社

＜協賛＞

STARTUP HOKKAIDO

＜協力＞

札幌市

北海道大学

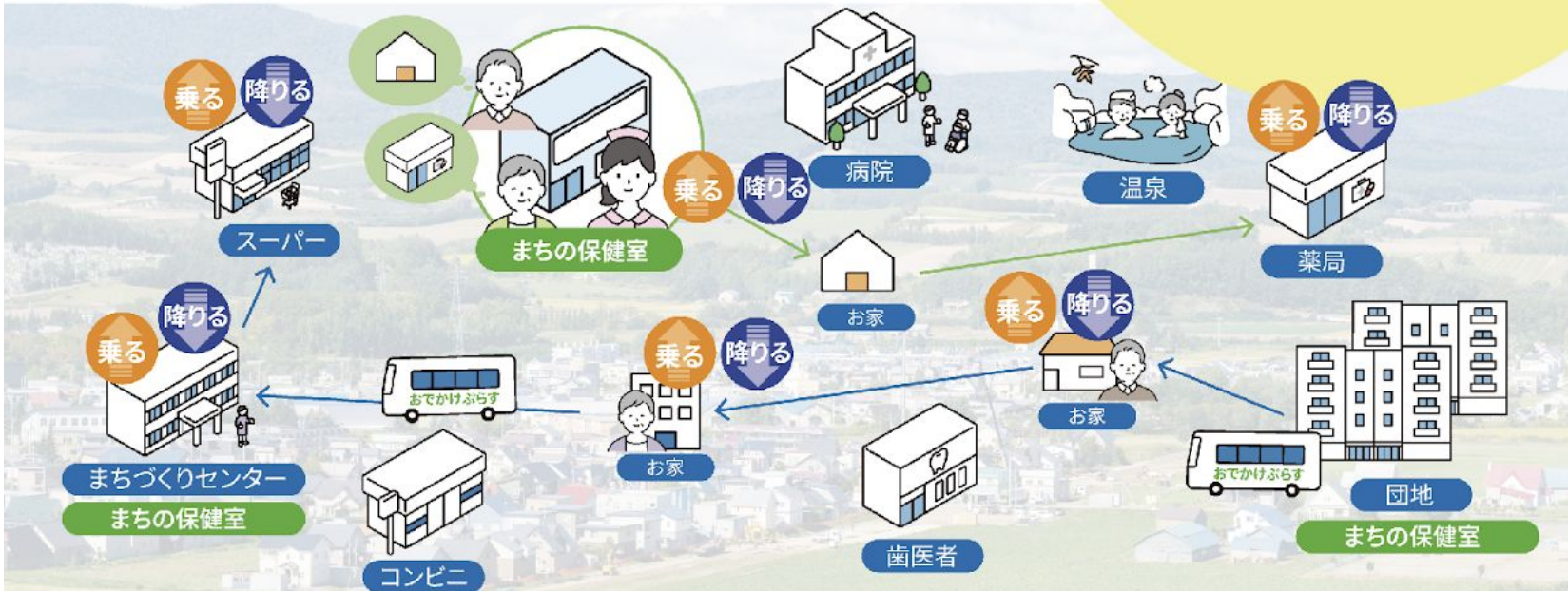
札幌市立大学

一般社団法人 北海道開発技術センター

株式会社ドーコン

大塚製薬

札幌市内医療福祉機関



健康的で自分らしい人生を送るための「からだ」と「こころ」の健康づくりをサポートする
「まちの保健室」と外出サポート「おでかけぷらす」を実証します。



まちの保健室



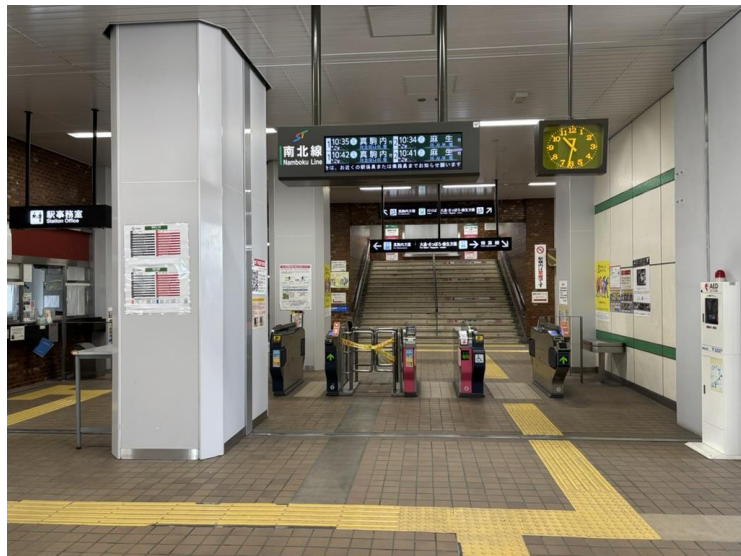
かんごぷらす
KANGO PLUS

2025年度年内の札幌市との連携・協力体制

札幌市交通局

地下鉄自衛隊前駅「まちの保健室」
(切符売り場横) 開設予定で相談中

- 移動困難層の QOL向上を目指す
- 駅を拠点に、多世代の健康支援と外出機会の創出を実現





2025年実証エリア(案)

実施期間: 11月下旬～12月中旬
(5日間～2週間)

中央区	狸小路	中央区南2条西10丁目1001	01
	南3条第2	中央区南3条西8丁目7	02
	北1条	中央区北1条西8丁目2	03
	北12条	中央区北12条西23丁目1-2	04
南区	あけぼの	南区真駒内曙町1丁目1	05
	五輪	南区真駒内緑町4丁目1	06
	澄川	南区澄川6条3丁目2	07
豊平区	新木の花	豊平区平岸1条4丁目3-1	08
	サンラフレ平岸	豊平区平岸2条4丁目1	09
	平岸	豊平区平岸6条10丁目1-58・59	10
	菊水	白石区菊水5条1丁目8-14	11
白石区	菊水三条	白石区菊水3条5丁目2	12
	東札幌6条	白石区東札幌6条3丁目1	13
	本郷	白石区本郷通3丁目北2	14
	琴似第1	西区琴似2条4丁目1-8	15
西区	琴似第2	西区琴似2条7丁目1-35	16
北区	北24条	北区北24条西6丁目1-7	17
	北10条	東区北10条東7丁目1-1・1-10	18
	北11条	東区北11条東7丁目1	19

札幌市内UR団地
(資料提供: UR都市機構)

*「UR団地まちの保健室」は、あけぼの団地か五輪団地どちらにするか相談中

看護・移動・歯科連携による PHR活用型予防支援モデルの研究開発



看護 × 外出支援 × 口腔ケア
デジタルでつなぐ地域包括ケアモデル



事業概要



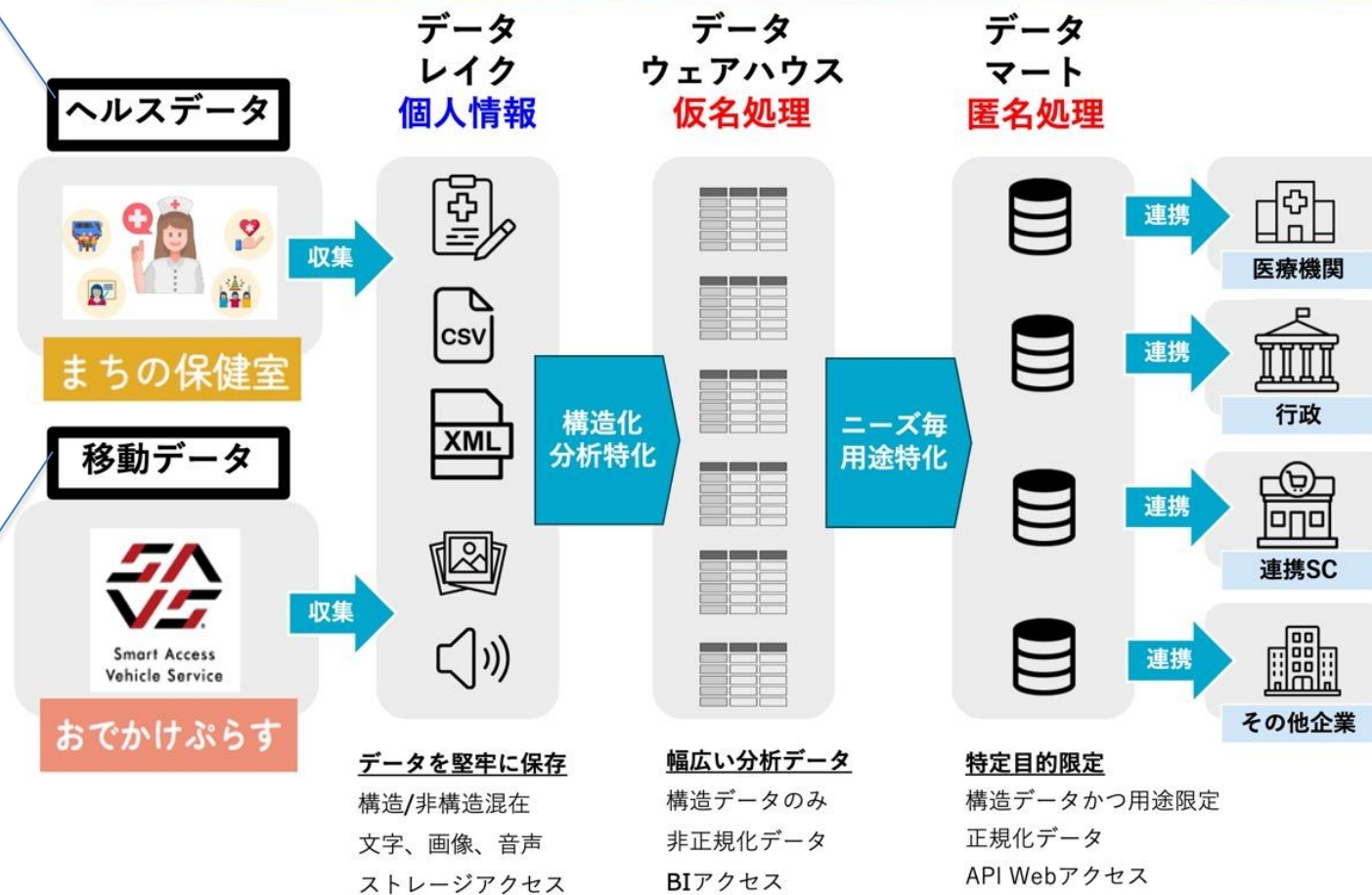
利用者データを統合した **PHR** (Personal Health Record)

生活習慣の改善、疾病の早期発見・重症化予防
リハビリ支援に対応する健康支援モデルの実装基盤を構築する

PHR : Personal Health Record全体構想

- 体温、脈拍、血圧、SpO₂等
- 認知機能評価
- 口腔機能評価
- フレイル指標
- 基本的日常生活動作
- 手段的日常生活動作
- 現病歴・既往歴
- 介護認定・障害者認定など

- 週あたり外出回数
- 移動距離
- 外出時間
- 目的地
- 乗車場所
- 車椅子利用



「まちの保健室」のヘルスデータと、「おでかけぷらす」による移動データを統合
フレイル・社会的孤立の予兆を早期に把握 できるPHRモデルを構築する

北海道から全国へ、新しいモビリティ社会を

100歳になっても
健康で自分らしく楽しい人生が
あたりまえの社会を創る



かんごぷらす
KANGO PLUS

